



義教からの

英語教育充実だより

令和3年2月
山形県教育庁
義務教育課

小学校英語指導力向上研修会より

県内4会場で、小学校の先生を対象に、英語指導力向上研修会を開催しました。研修の主な内容と、参加いただいた先生方の声を紹介します。

研修の内容 「教科書を活用した外国語の授業づくりと評価」

- 聞く必然性のある活動の工夫と、教科書の活動につなぐやり取りの充実
- 学習評価の考え方の確認（いつ、何を、どうやって評価するのか）



参加した先生方の声

教科書の活動に入る前に、教科書にある様々な情報（絵、写真）から、描かれているものや推測される内容などについて、**子どもたちの気付きを促したり、表現を引き出したりするやり取り**をたっぷり行いたいと思います。

正しい英語を教えたいと思うあまり、分からない単語や表現をすぐに伝えていました。すぐに教えるのではなく、**児童と一緒に考える**ことが、児童の考える力を育てるのだと学びました。

聞く必要感をもたせる指導がとても勉強になりました。「〇〇さんは何色が好きだって言った？」と**問い返す**など、ちょっとした工夫で子どもたちが変わると実感しました。

指導を重ねて、**できるようになったところを評価**すること、1回の評価で終わらず、**(c)を(b)以上にする支援**をすることを実践していきたいです。

毎時間、記録に残す評価をするのではなく、単元で**評価する領域をしぼったり**、それに向けた指導を十分に行ったりすることを知りました。各単元で全ての領域を評価する必要はないことがわかり、少し安心しました。

評価の基準について、「**正確さ**」、「**内容の適切さ**」というところが勉強になりました。また、「知識・技能が(c)なら、思考・判断・表現も(c)か」の質問は、私も困っていたところだったので、スッキリしました。

<Plus One> 「授業づくりの New Three Keywords（出典：国際教養大学 町田 智久 教授より）」

1. ~~Clear Voice~~
2. ~~Eye Contact~~
3. ~~Gestures~~



1. **Authenticity（真正性）**…身近で本物の活動を！
2. **Personalization（個人化）**…自分のことを語る場を！
3. **Creativity（創造性）**…型でなく、自由度の余地を！